

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1 9 3 4 4 1 4
園名	明星台幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

植物（シラカシ）

<テーマの設定理由>

園庭にある身近な植物をテーマにすることで、子どもたちにとって身の回りの物や事柄に興味を持つきっかけとなり、環境を通じて新しい発見や気づきを得ることに喜びを感じられるようになって欲しかったのでテーマに決めました。

特にシラカシは季節を感じられ、幼児には扱いやすく葉も実も活用範囲が豊富で、内容を深めていけると考えました。

また身近にあることで継続的に観察が続くことで、活動が終わってからも興味や関心が続くと考えたためテーマにしました。

2. 活動スケジュール

【9月中旬】

「なぜシラカシの木の下は涼しいのか？なぜ気持ちが良いのか？」等という議題を中心に子どもたちを小グループにし、何回かに分けて意見を出し合う。

【10月中旬】

落ちてきたどんぐりを使って、粘土の飾りに使う。コマなどのおもちゃを作ってみる。

【11月中旬】

年長児中心に自分用にTシャツの絞りをして、どんぐりから作った抽出液でTシャツを染める。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

【どんぐり染め】の活動内容

- ① 予め T シャツを豆乳に漬けて乾かしておく。子どもたちは自分の T シャツにビー玉と輪ゴムで絞り模様を作る。
- ② 抽出液をつくるためにどんぐりを煮出し、温度管理をしながら子どもたちが自分の T シャツをどんぐり液に漬ける。
- ③ みょうばん液に漬けて絞り干して完成。

子どもたちは時間をかけながら、T シャツを自分で作り上げていた。

いつも身近にあって自分たちが拾ったどんぐりを使って、白い T シャツがみるみる染まっていく様子に興味津々だった。実際に着用してとても喜んでいたし、とても満足そうだった。

【どんぐり染め】環境・道具等の準備

豆乳・みょうばん・どんぐりの抽出液作成・その他



4. 振り返り＜振り返りによって得た先生の気づき＞

子どもたちにとって身近な植物（シラカシ）を実際に活用してみて、身の回りの物に興味を持ちながら意見を出し合ったり考えを深めたりする様子に、幼児らしい探究のあり方が見られました。

そんな中からどんぐり転がしのゲームが生まれたり楽しみながら進んでいく様子に、幼児の本来の姿が見えました。

大人の目線で新しいことを与えるだけではなく、子どもたちの日常の中で知的好奇心を刺激するような環境の大切さを感じ、今後も環境を整える努力していきたいと思いました。